

不快害虫等対策について

○クロバエキノコバエ

特徴

- ・成虫は体長1～2ミリメートルで黒色、黒褐色。
- ・大量に発生すると不快に感じられますが、刺すなどの人への健康に害はありません。
- ・年間を通して最も発生しやすいのは梅雨の時期ですが、秋ごろに発生する場合があります。
- ・1日の間では、夜明けから午前10時ごろまでが大量発生する時間帯で、その後は飛び回らなくなることが多いようですが、気候によっては1日中飛び回ることがあります。
- ・発生源は畑、プランター、野山などの腐葉土等と言われていますが、現在のところ特定はされていません。
- ・白などの明るい色のもの(壁など)に集まりやすい傾向があります。



室内で採取した
クロバエキノコバエ

対策

クロバネキノコバエは生態に関して不明な点が多く、駆除することが難しい虫です。屋内への侵入防止に努めてください。

- ・窓やドアの締め切り、換気扇の自粛、サッシの目張りなど。

(注) 締め切る際は熱中症などにご注意ください。

- ・侵入経路となる窓やドアの横に扇風機を設置する、網戸やサッシへの殺虫剤の噴霧など。

○ユスリカ

特徴

- ・姿は非常に蚊に似ていますが、刺したり、血を吸ったりはしません。
- ・幼虫は溝や泥の溜まった水溜り、河川、湖沼など水中で生息し、特に富栄養化の進んだ湖沼では、春や夏季になるとユスリカが大発生(蚊柱)することがあります。
- ・富栄養化の進んでいない普通の川や池沼、あるいは清流に住むものも多くいます。
- ・蛍光灯の明かりなどに集まる習性があり、屋内に侵入することもあります。



対策

- ・発生源である雑草やたまり水の除去、側溝の掃除などに努めてください。
- ・網戸や玄関に虫よけの薬剤を使用する、紫外線を出さない照明器具や紫外線をカットするシートを窓に貼るなど、屋内への侵入防止に努めてください。

問い合わせ先
人吉市役所環境課環境衛生係

☎ 22-2111